

平成27年度 二宮町ごみ減量化推進協議会 会議録

日 時：平成27年7月29日(月)

午前9時00分～午前11時40分

場 所：二宮町役場 公室

出席者：平田委員 / 吉見委員 / 高橋委員 / 西川委員 / 大矢委員

事務局：筑紫町民生活部長 / 小島生活環境課長 / 須田生活環境班長

1. 開会
2. あいさつ

会 長：4月にごみの分別・収集日の変更という大きな節目がありました。

ごみ減量化推進協議会としてもごみの減量化だけでなく、2年以上前からごみ処理広域化に向けた分別の変更方法、周知方法などを協議してまいりました。

地域説明会や広報の連載、何よりも町や地域の方のご努力により、大きな問題もなく、ごみ処理広域化への移行がされつつあると思います。

今後、ごみ減量化推進協議会は、ごみ処理広域化に係るごみ処理についてだけでなく、本来のごみの減量化を改めて検討する協議会にできればよいと考えていますので、よろしくをお願いします。

3. 議題

(1) 「ごみの分別・収集日変更」後の状況について

『「ごみの分別・収集日変更」後の状況について事務局より説明』

【質問・意見等】

委 員：ごみ量全体を減量していくということですが、廃食用油、古紙、布類などの資源ごみは増えた方がよいと思います。その辺で工夫する必要があると思います。

事務局：廃食用油は、地域説明会で改めて分別方法を周知したことで増加傾向です。これは、可燃ごみだったものが廃食用油として分別されたと考えています。当町では可燃ごみを減量化するために、可燃ごみだけを有料化しています。廃食用油や紙ごみなどは、可燃ごみに出すと有料ですが、資源ごみとして出していただくと無料で出すことができる工夫はしています。

会 長：これまでは、ごみ処理広域化をどううまく実現するかを目標にしていますが、今後は、今お話しがあったことも含めて、どういうところを工夫して減量化できるのかを議論していきたいと思います。

委 員：寝具類が増加しているということですが、二宮町の人口構成を見たときに高齢化率が高いので、終活という言葉がよく会話に出てきます。その中で、布団や洋服などを皆さんが片付けていることも要因の1つだと思います。

(2) その他

『次回会議について事務局より説明』

【質問・意見等】なし

4. 視察研修

容器包装プラスチック及びペットボトルの指定保管施設の視察研修を実施
分別状況、選別・保管状況の視察を行った。